

特別活動の努力事項

福島県教育委員会では「学校教育指導の重点」という冊子を作成し、各教科等の指導を進める際の重点について解説しています。その中の特別活動の努力事項を紹介するので参考にしてください。

- 各教科、道徳、総合的な学習の時間などの指導との関連を図り、全教師の協力の下、調和のとれた「全体計画」と「年間指導計画」を作成しましょう。
- 学校の実態や児童生徒の発達段階、特別活動の特質を踏まえるとともに、各活動・学校行事を通して育てたい態度や能力を明確にした創意ある指導計画を作成しましょう。
- 指導内容を精選・重点化し体験的な活動の充実を図るとともに、特別活動の特質を生かし、道徳的実践の指導の充実を図りましょう。
- 活動の過程や結果における児童生徒の努力や意欲などを積極的に認めるとともに、児童生徒のよさを多面的・総合的に評価しましょう。また、児童生徒が活動への取組を振り返り、それを発表をする場を設けるなどして深化を図りましょう。

(学級活動)

- 児童生徒の自発的、自治的な活動を通して、望ましい人間関係を築く態度を育成する観点から、話し合い活動を充実させ、活動内容(1)「学級や学校の生活づくり」の内容が十分展開できるようにしましょう。
- 児童が日常の生活や学習について目標をもって取り組めるようにするとともに、自分の役割や働くことの意義の理解などが十分できるよう適切な指導に努めましょう。
(小)
- 望ましい勤労観・職業観を育成するとともに、ガイダンスの機能を充実させ、生徒の学校生活への適応や人間関係の形成、主体的な進路の選択ができるよう指導・援助に努めましょう。(中)

(児童会・生徒会活動)

- 学級活動や学校行事との関連を図るとともに、異年齢集団による交流のよさを一層重視して、自己肯定感・自己有用感が高まるよう適切な指導に努めましょう。
- 各学校の実態に応じて組織や運営方法等を見直し、児童生徒のリーダーシップの育成に努めましょう。

(クラブ活動(小学校))

- 教師の適切な指導の下で児童が具体的な活動計画を立てるなど、異年齢集団の中で自発的、自治的な活動が活発に展開されるような指導を行いましょう。

(学校行事)

- 自校の実態に即した内容を重点化するとともに、行事間の関連や統合を図るなどして精選し、児童生徒による自主的、実践的な活動が助長されるように工夫しましょう。
- 幼児や高齢者、障がいのある人々との触れ合いや異年齢集団による交流、自然体験、文化的な体験、大震災の経験を踏まえたボランティア活動などの活動を充実させましょう。



※ 詳しい内容が福島県教育委員会のホームページに掲載されています。

http://www.gimu.fks.ed.jp/shidou/tyousa-siryoutou/sidoujuuten/25sidoujuuten_1.pdf